

## IV-3

## どんな植物を食べていたのだろうか？

岩宿（旧石器）時代の人々は、狩りによって得た動物の肉以外にも、さまざまな植物の食べ物を食べていたと考えられます。当時生えていた植物から考えると、クリやクルミ、ハシバミといった硬い殻をもつ木の実、キイチゴやコケモモ、クロメノキ、ヒメウスノキなどの小さな果物類、チョウセンゴヨウの松の実などが食べられていた可能性があります。そのほか、ユリの球根やヤマイモ、現在の山菜にあたる木や草の新芽なども食卓に上っていたことでしょう。それらのうち、木の実などを蓄えていたことも考えられますが、それ以外は取れる期間も限られ、腐りやすいと考えられますので、計画的にそれらを採って食べていたことでしょう。



クリ



クルミ



ハシバミ

マツの実  
(チョウセンゴヨウ)

チョウセンゴヨウの球果



ヒメウスノキ（提供：鈴木忠司氏）



クロナマノキ（提供：鈴木忠司氏）



コケモモ（提供：鈴木忠司氏）